

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	城田 吉孝								
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング (グループ・ディスカッションなどの双方向対話型授業)	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係	経済学の基本を理解していることが望ましい。								
7. 講義概要	現代社会においてほとんどの場合、カネを用いて商品取引を行っている。したがって、現代のわれわれの生活にカネは必要不可欠なものである。さらに金融の動向は、実体経済にさまざまな影響を及ぼす。これらのことから、個々の経済主体の意思決定、家計や企業等の金融行動に必要な基礎知識として、金融の役割、金融の方法、利子率、金融市場、金融機関、金融政策などを理解することは重要である。そこで、本講義では、金融論の基礎的な理論や現状について考察する。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。</li> <li>2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 金融の問題を発見できるようになり、解決策を考えられるようになる。</li> </ol>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5回目、10回目に講義内容をまとめてレポートを提出してもらう。</li> <li>・日本銀行は、金融政策決定会合開催後、直ちにその結果を公表しています。日本銀行のHPを見ると、最近の決定会合の結果がわかりますので、調べてみましょう</li> <li>・あなたが預金口座を持っている銀行の自己資本比率の内容や経営状態について調べてみましょう</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 家森信善『金融論』第3版中央経済社 2022年。</p> <p>【参考書】 晝間文彦『基礎コース金融論 第4版』 新世社、2021年。 日本経済新聞社編『金融入門』日本経済新聞出版社、2020年。 伊藤亮太『金融の仕組みがこれ1冊でしっかりわかる教科書』技術評論社 2022年</p>								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金融論の基礎知識が理解できているか。</li> <li>2. (中間) レポート課題に対する的確に検討し、説明できるようになっているか。</li> <li>3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の 30%	2. (中間) レポート	総合点の 30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%
1. 授業への積極的参加	総合点の 30%								
2. (中間) レポート	総合点の 30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 40%								
12. 受講生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、下記のことを守る。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業には欠席、遅刻、早退はしないこと (欠席、遅刻、早退の場合は、その理由を書面にて提出のこと)。</li> <li>②授業中理解できなかったことは、そのまま放っておかず質問すること。</li> <li>③授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチは切っておくこと。</li> <li>④授業中は緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。</li> <li>⑤課題の提出期限を厳守すること。</li> <li>⑥授業に「参加すること」これは出席を指すのではなく、他人の意見に耳を傾け、間違えるのを恐れぬ自分の意見を持ち、積極的に参加することである。</li> </ol> </li> <li>2. (ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。</li> <li>3. (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳格な指導下におく</li> </ol>								
13. オフィスアワー	授業中に通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	第 1 章 金融論の全体像	事前学習	pp.21～22 金融論の主な内容をまとめること。						
		事後学習	日本の金融システムの変化について理解する。						
第 2 回	第 2 章 貨幣の役割・定義	事前学習	p.27 貨幣の役割・定義を読んでおく。						
		事後学習	貨幣と物価の特徴を理解する。						
第 3 回	第 3 章 金利	事前学習	p.43 金利とは何かについてまとめる。						
		事後学習	金利とは何か、概念について理解する。						
第 4 回	第 4 章 金融政策の枠組み	事前学習	p.68 金融政策の効果・枠組みについてまとめる。						
		事後学習	金融政策の効果波及メカニズムについて理解する。						

第5回	第5章 金融政策の課題	事前学習	p.84 金融改革の重点についてまとめる。
		事後学習	日本の金融政策の重点をまとめる。
第6回	第6章 金融政策の基本手段	事前学習	p.91 金融政策の政策手段についてまとめる。
		事後学習	金融政策の政策、金利政策について説明できる。
第7回	第7章 金融システムと金融仲介機関の役割	事前学習	p.109 金融システムの機能について理解する。
		事後学習	金融システムと金融仲介機関の役割についてまとめる。
第8回	第8章 銀行以外の金融機関	事前学習	p.127 銀行以外の金融機関について調べる。
		事後学習	信用金庫・JA・保険会社・証券会社の特徴についてまとめる。
第9回	第9章 金融システムの政策	事前学習	p.146 銀行破綻と政府の関係について調べる。
		事後学習	プルーデンス政策の必要性について説明できる。
第10回	第10章 金融機関の破綻への対応策	事前学習	p.169 証券会社の顧客保護について考える。
		事後学習	金融機関の事後的政策について説明できる。
第11回	第11章 金融市場に関する規制	事前学習	p.176 金融市場の規制の必要性についてまとめる。
		事後学習	金融市場の規制について説明できる。
第12回	第12章 間接金融型の金融商品	事前学習	p.191 金融リテラシーと金融経済教育についてまとめる。
		事後学習	家計の金融商品選択について考える。
第13回	第13章 直接金融型の金融商品	事前学習	p.207 株式会社制度についてまとめる。
		事後学習	国債・株式の比較を説明できる。
第14回	第14章 ファイナンスの基礎	事前学習	p.223 分散投資の重要性についてまとめる。
		事後学習	コーポレートガバナンスについて理解する。
第15回	経済の調整手段としての金融政策・金融システムを復習し金融論の内容を総括する。	事前学習	金融政策の課題・金融システムの政策についてまとめる。
		事後学習	講義の復習：金融政策の課題・金融システム政策について説明できる。
期末試験			